

平成 26 年 9 月 1 1 日

千葉木鶏クラブ

(352 回 例会)

## 「日本人としての在り方」

『昭和天皇実録』が公表。戦争被害者として胸のつかえもとれ、終戦内閣書記官長迫水久常氏著書『終戦時の真相と今上天皇の御仁徳』とが重なり嬉しくなった。

盛り沢山の戦争秘話の中に、終戦前日にこともあろうに朝日新聞が「... 米・英・ソ・支連合軍に行動開始したり」と「放送」並びに「号外」を出そうとしていた。(直前に回避)

今日、国際社会で日本の名誉を貶めている「慰安婦虚報」と同じである。

国から借金、一等地に格安で立てた反日朝日新聞社に「日本人としての在り方」を問わねばならないのに政治家、他社(西村慎吾代議士、産経・東京は別)のだんまりに怒りを覚える。

今回は、終戦詔勅を見事な文言で助言した安岡正篤先生による講話の一部(昭和40年小湊誕生寺にて)題して「日本人としての在り方」お聞きしたいと思います。

どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。

皆様のお越しをお待ちしています。

### 記

1. 日 時 : 平成26年9月27(土)

PM 15時30分 ~17時30分

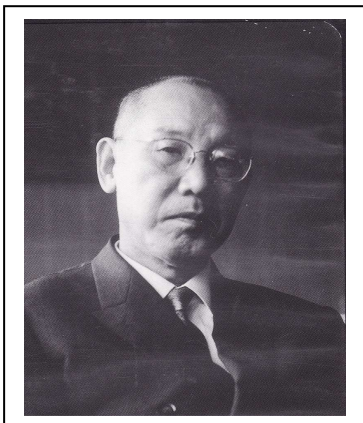
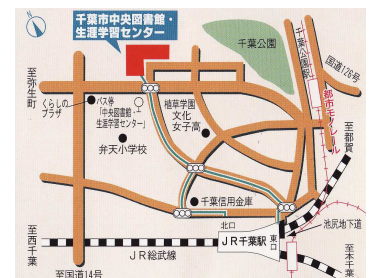
2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811

<交通案内> JR 千葉駅東口から 徒歩8分 駐車場有り

3. 会 費 : 1000円

4. 講 演 : 安岡 正篤先生

<プロフィール>



協議

多数

明治31年、大阪府生まれ。東京帝国大学法学部卒業、「東洋思想研究所」「金鶏学院」「国維会」「日本農士学校」「篤農協会」等を設立。戦後は「全国師友協会」「新日本会」等をつくり、政財界の精神的支柱として多くの敬仰者を持った。昭和58年12月逝去。

著書に『朝の論語』『運命を開く』『活眼活学』『活学としての東洋思想』『人生と陽明学』『論語に学ぶ』などある。

5. レジюме

- 1) 日本は崩壊過程にある
- 2) 徳性の教育を忘れた日本
- 3) 現代は自己疎外の時代
- 4) お経と教育
- 5) 分析主義の危険性について

先月、諸般の事情から休会させていただきました。

千葉木鶏クラブ 代表兼事務局 丸島 忠夫

Email : [marushima\\_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp)

Tel : 0475-25-1211 Fax:0475-38-5153